

■取組方針フォローアップ【大淀川上流、大淀川下流】

(1) 水害に強い人づくりの推進

【取組状況】

①実施項目数/全項目数:



②主な取組内容 H30:

●「川を通じたコミュニティづくりの推進」

→各機関でイベント時の住民団体等との協働・連携活動が継続されている。クリーンアップ活動や市民環境学習など住民の川への意識向上がはかれるとともに、官民の連帯感が強まっている。

●「防災学習の推進」

→一部の機関で学校及び教育委員会と連携したが図られている。
→引き続き、国・県・市が連携して取組みの推進が必要である。
→今後さらに「学校における避難確保計画の作成、計画に基づく避難訓練及び避難訓練を通じた防災教育の支援」が必要となる。

●「自主防災組織の結成と積極的活動」

→説明会・支援・訓練等が実施されている。
→備蓄品拡充が実施されている。

●「防災リーダー（地域防災士、水防団等）の育成」

→各機関において連携・フォローアップが実施されている。

●「住民が利用しやすい洪水ハザードマップの作成」

→県管理区間の浸水想定区域図の公表にあわせ、今後国富町、綾町でハザードマップ作成予定。

③今後の課題:

- 住民の水防災意識の向上を図るため、国・県・市が連携した「出前講座、防災学習、シンポジウム等」に取り組んでいく必要がある。
- ハザードマップの作成については、作成後の活用（実践的な訓練への使用等）の検討が必要である。（避難経路、避難のタイミング）

<主な取組内容>

| 具体的目標:1. 水害に強い人づくりの推進 | 目標時期 | 【県管理区間】 | | | | | | |
|---------------------------|--------------------------|---------|-----|-------|----|-----|------|------|
| | | 大淀川上流 | | 大淀川下流 | | | 2協議会 | |
| | | 都城市 | 宮崎市 | 国富町 | 綾町 | 宮崎県 | 宮崎河川 | 宮崎河川 |
| ①川を通じたコミュニティづくりの推進 | 継続 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| ②防災学習の推進 | 継続 | ● | ○ | ○ | ● | ○ | ● | ● |
| ③自主防災組織の結成と積極的活動 | 継続 | ● | ● | ● | ○ | ○ | ○ | ○ |
| ④防災リーダー(地域防災士、水防団等)の育成 | 継続 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| ⑤住民が利用しやすい洪水ハザードマップの作成(※) | 【大淀上】H29年度 【大淀下】H32年度 | ● | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

(※)最大規模洪水を対象とする。 ○:取組継続 ●:進捗

①について

・大淀川こどもサミット<都城市>・大淀川の学習体験の育成事業H31年度より予定<宮崎市>・漁協連携(稚魚放流)<国富町・綾町>・水辺のモニター<宮崎県>・川づくり交流会、水質調査、クリーンアップ活動、市民環境学習ほか<宮崎河川>

②について

・企業主催防災イベント、自治公民館研修、小中学校で防災講話実施<都城市>・市民参加型危険箇所合同点検、企業実施防災訓練連携、地域防災コーディネーター配置(消防職員OB)、防災教育手引きの活用推進<宮崎市>・自主防災リーダー研修会、小中学校避難訓練・防災学習<国富町>・防災マップ作成し、持ち出し品啓発、高齢者クラブを対象としたハザードマップの説明会実施、東日本大震災を例とした防災教育<綾町>・土砂災害防災教室<宮崎県>・宮崎県教育庁と連携した防災学習、ラジオ放送、小中学校にて津波防災ワークショップ<宮崎県>・防災ラジオ放送、防災ポータルサイト開設、Facebookによる訓練等の情報発信、ホームページをわかりやすく改良、防災学習教材の提供<宮崎河川>

③について

・合同防災訓練(HUG、水防訓練)、避難行動要支援者説明会、避難行動要支援者等のマップを作成、自治公民館研修<都城市>・宮崎市要配慮者支援プランに基づき支援・訓練、学生消防団活動認証制度を実施、舟艇訓練を実施<宮崎市>・自治会自主防災組織結成、要配慮者避難誘導体制確立、災害ボランティアセンター運営研修会の実施(国富町)・町民一斉避難訓練、要配慮者施設研修呼びかけ(綾町)・企業防災訓練や研修会への防災士派遣、要配慮者施設に係る道路網連絡調整会議開催、新規結成自主防災組織補助事業<宮崎県>・防災学習・広報、要配慮者利用施設管理者説明会<宮崎県>・啓発・川の防災情報チラシ配布、防災訓練、Facebookによる訓練等の情報発信<宮崎河川>

④について

・防災士取得助成、防災士ネットワークとの連携(講演会・訓練)<都城市・宮崎市・国富町・綾町>・防災士フォローアップ研修会<宮崎市>・町内防災士意見交換会を開催<国富町>・防災士研修<綾町>・防災士研修講師派遣<宮崎県・宮崎河川>・随門操作説明会、水門点検、合同点検<宮崎河川>

⑤について

・広報誌に掲載、防災講座開催、総合防災マップを用いて防災訓練支援<都城市>・洪水ハザードマップにより防災訓練支援<宮崎市>・ハザードマップ作成予算化<国富町>

(2) 情報伝達のための環境づくりの推進

【取組状況】

①実施項目数/全項目数



②主な取組内容 H30

●「要配慮者を考慮した避難・誘導の取組の推進」

- 要配慮者名簿の作成・更新作業、説明会が実施されている。
- 福祉避難所の指定や社会福祉施設との協定締結のほか、施設への標高掲示板の設置が行われている。
- 避難行動要支援者マップが作成、説明会実施など「避難確保計画作成」支援が実施されている。
- H31.1 に延岡市で要配慮者利用施設の所有者説明会が開催され、技術的支援が実施

●「避難勧告等の発令の基準化及び「避難準備情報」の活用」

- 各機関において体制整備に「タイムライン」が活用されており、タイムラインを活用した図上訓練が実施されている。

●「迅速かつ確実な防災情報・避難情報伝達及び手段の多様化」

- 国土交通省では、H30.5～洪水情報のプッシュ型配信が開始されている。

●「学習会による災害情報の共有」

- 想定最大ハザードマップの作成や避難所看板刷新が行われている。

③今後の課題：

→H30年出水の振り返り（内水検討会）を受け、情報発信・共有については、関係機関で共有するための仕組み（タイムラインの活用、マスコミとの勉強会、地域防災コラボチャンネル等）を強化する必要がある。

<主な取組内容>

| 具体的目標:2. 情報伝達のための環境づくりの推進 | 目標時期 | 【県管理区間】 | | | | | |
|-----------------------------|--------------------------|---------|-----|-------|----|------|------|
| | | 大淀川上流 | | 大淀川下流 | | 2協議会 | |
| | | 都城市 | 宮崎市 | 国富町 | 綾町 | 宮崎県 | 宮崎河川 |
| ①要配慮者を考慮した避難・誘導の取組の推進 | 継続 | ● | ○ | ● | ○ | ○ | ○ |
| ②避難勧告等の発令の基準化及び「避難準備情報」の活用 | H29年度 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| ③迅速かつ確実な防災情報・避難情報伝達及び手段の多様化 | 継続 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ● |
| ④学習会等による災害情報の共有(※) | 【大淀上】H29年度 【大淀下】H32年度 | ○ | ○ | ● | ○ | ○ | ○ |

(※)最大規模洪水を対象とする。 ○:取組継続 ●:進捗

①について

・避難行動要支援者等マップ作成、各地区研修会協議会にて説明会実施、避難確保計画作成が必要な施設通知<都城市>・広報誌にて災害情報等掲載<国富町>・自主防災組織を含む防災訓練を実施、福祉避難所指定又は社会福祉施設等と協定締結<都城市・宮崎市・国富町・綾町>・個別避難支援計画作成推進、水害リスク啓発、避難確保計画作成支援、避難訓練実施や避難場所情報提供<宮崎市>・名簿作成・更新、民生委員等連携<国富町>・要援護者台帳整備・更新、病院や福祉・高齢者利用施設へ標高掲示板<綾町>・要配慮者利用施設管理者防災説明会<宮崎県・気象台・宮崎河川>

②について

・体制整備へのタイムラインの活用<都城市・宮崎市・国富町・綾町>
・タイムラインを活用した災害図上訓練の実施<都城市・宮崎市・国富町・宮崎県・気象台・宮崎河川>

③について

・広報誌掲載<都城市・国富町>・テレビ・ラジオ活用<都城市・宮崎市>・防災メール登録<宮崎市>・防災行政無線デジタル化整備事業<綾町>・イベント時「チラシ」配布<宮崎県・宮崎気象・宮崎河川>・洪水情報のプッシュ型配信、危険管理水位計情報配信の開始<宮崎河川>

④について

・想定最大洪水ハザードマップ作成、避難所看板刷新<都城市・綾町>・ハザードマップ作成予算化、避難所運営研修会<国富町>

(3) 水害に強いまちづくりの推進

【取組状況】

①実施項目数/全項目数



②主な取組内容 H30

- 「都市計画による開発抑制、土地利用規制、災害危険区域の指定等適切な土地利用への誘導」
→一部の機関で土地利用規制の見直しを実施、居住誘導区域検討が予定されている。
- 「安全な避難路・復旧路の整備」
→避難代替ルートを検討などが行われている。
→宮崎県では主要路線を緊急輸送道路に指定している。
→宮崎河川では広域的な河川氾濫を想定した排水計画の検討を実施。
- 「安全な避難場所の確保」
→「宮崎県南部地域大規模災害対策連絡推進協議会」で「広域避難計画」及び「マニュアル」を作成している。
→指定避難場所の見直しを実施・検討している。
- 「高齢者等利用施設等における自主的な避難確保・浸水防止の取組の促進」
→浸水区域内の要配慮者利用施設について、避難確保計画・訓練支援が行われている。
→施設所有者への技術的支援を実施している。
- 「排水ポンプ車による排水計画の策定」
→宮崎河川では広域的な河川氾濫を想定した排水計画の検討を実施。

③今後の課題：

→河川氾濫等の各種検討や訓練にあたっては、ハザードマップ等を活用しつつ、避難経路、避難のタイミング等の理解促進するなど、地域特性を踏まえる対応が重要である。

<主な取組内容>

| 具体的目標: 3. 水害に強いまちづくりの推進 | 目標時期 | 【県管理区間】 | | | | | |
|--|--------------------------|---------|-------|-----|------|-----|------|
| | | 大淀川上流 | 大淀川下流 | | 2協議会 | | |
| | | 都城市 | 宮崎市 | 国富町 | 綾町 | 宮崎県 | 宮崎河川 |
| ①都市計画による開発抑制、土地利用規制、災害危険区域の指定等適切な土地利用への誘導(※) | H29年度以降 | ● | ○ | | | / | / |
| ②安全な避難路・復旧路の整備(※) | H29年度以降 | ● | ○ | ○ | ○ | ○ | ● |
| ③安全な避難場所の確保(※) | 【大淀上】H29年度 【大淀下】H32年度 | ● | ○ | ● | ○ | / | / |
| ④高齢者等利用施設等における自主的な避難確保・浸水防止の取組の促進 | 継続 | ● | ○ | | | ○ | ○ |
| ⑤排水ポンプ車による排水計画の策定(※) | H30年度 | / | / | / | / | / | ● |

(※)最大規模洪水を対象とする。 ○:取組継続 ●:進捗

①について

・土地利用規制については見直しを実施(都城市)・居住誘導区域を検討予定(宮崎市)

②について

・総合災害マップのコンセプトを住民自らが書き込むマップとし活用、路線毎に緊急性、利用頻度を考慮し優先復旧用道路を検討(都城市)・避難代替ルートの検討、路線毎緊急性を含め道路整備に反映(宮崎市) 県管理河川の想定しうる最大規模洪水浸水想定区域図公表・主要路線を緊急輸送道路指定(宮崎県)・広域的な河川氾濫を想定した排水計画検討実施(宮崎河川)

③について

・指定避難場所の見直しを実施、広域避難計画及びマニュアルを作成<都城市>・避難場所点検や見直しを検討<宮崎市>・中央コミュニティーセンターを指定避難所とした<国富町>
・県南部10市町議会作成「広域避難計画」「マニュアル」準備<都城市・宮崎市・国富町・綾町>

④について

・説明会・集団指導等での説明等実施<都城市>・浸水区域内の要配慮者利用施設について、避難確保計画・訓練支援<宮崎市>・要配慮者利用施設管理者防災説明会<宮崎県・宮崎气象台・宮崎河川>

⑤について

・広域的な河川氾濫を想定した排水計画に検討を実施(宮崎河川)

(4) 水害に強い防災拠点づくりの推進

【取組状況】

①実施項目数/全項目数



②主な取組内容 H30

●「浸水時にも活用出来る水防倉庫、アクセス路整備」

→最大浸水想定区域を基に点検確認が実施されている。

●「浸水時における公共施設、ライフライン等の機能維持対策」

→業務継続計画への記載。

→工事に併せて機能確保対策（電源移設）が行われている。

→インフラ緊急点検を実施し、排水施設の機能維持対策の実施が予定されている。

●「防災ステーション等防災拠点の整備」

→都城市では、H30年早水文化センターサブアリーナを建設。

→綾町では、H30消防詰所2箇所建替完了。

③今後の課題：

→各関係機関と課題を共有し、さらなる取組を進めていきたい。

→河川氾濫等の点検等に当たっては、ハザードマップ等を活用しつつ、アクセス路、タイミング等の理解促進するなど、地域特性を踏まえる対応が重要である。

<主な取組内容>

| 具体的目標:4. 水害に強い防災拠点づくりの推進 | 目標時期 | 【県管理区間】 | | | | | |
|--------------------------------|-----------|---------|-----|-------|----|------|------|
| | | 大淀川上流 | | 大淀川下流 | | 2協議会 | |
| | | 都城市 | 宮崎市 | 国富町 | 綾町 | 宮崎県 | 宮崎河川 |
| ①浸水時にも活用できる水防倉庫、アクセス路の整備(※) | 【大淀】H32年度 | ○ | ○ | ○ | | | ● |
| ②浸水時における公共施設、ライフライン等の機能維持対策(※) | H32年度 | ○ | ○ | ● | ● | ○ | ● |
| ③防災ステーション等防災拠点の整備(※) | H32年度 | ● | ○ | ○ | ● | | ○ |

※最大規模洪水を対象とする。 ○:取組継続 ●:進捗

①について

・ハザードマップで点検確認<都城市> ・アクセス路点検実施<宮崎市> ・決壊シミュレーション訓練を実施<宮崎河川>

②について

・業務継続計画へ記載、各機関の各種計画情報共有<都城市> ・県管理河川の想定最大規模の浸水想定区域図策定を受け、機能確保対策の見直しを検討<宮崎市> ・業務継続計画を策定<国富町> ・電源設備移設完了、BCP計画策定<綾町> ・インフラ緊急点検を実施し、排水施設機能維持対策が必要な対策を行う予定<宮崎河川>

③について

・高城運動公園の整備完了、早水運動公園整備実施中、早水文化センターサブアリーナ建設<都城市> ・都市マスタープランに沿って防災拠点整備推進、アクセス道路の排水対策推進<宮崎市> ・中央コミュニティーセンター竣工<国富町> ・町内自治公民館を年次的に整備し、H30年度1消防詰所2箇所の建替完了<綾町>

(5) 被害を最小にするハード整備

【取組状況】

①実施項目数/全項目数



②主な取組内容 H30

●「洪水を安全に流すためのハード対策」

→大淀川河川整備計画を H30.6 変更
 →大淀川における侵食・洗掘対策はH29年度に完了し、引き続きパイピング対策、津波高潮対策を実施中

●「危機管理型ハード対策」

→法尻補強対策、天端舗装を実施

③今後の課題：

→引き続き、ハード整備を推進し、被害を最小にする取組を必要とする。

<主な取組内容>

| 具体的目標:5. 被害を最小にするハード整備 | 目標時期 | 【県管理区間】 | | | | | |
|------------------------|-------|---------|-------|-----|------|-----|------------|
| | | 大淀川上流 | 大淀川下流 | | 2協議会 | | |
| | | 都城市 | 宮崎市 | 国富町 | 綾町 | 宮崎県 | 宮崎県 宮崎川 |
| ①洪水を安全に流すためのハード対策 | 継続 | | | | | | ● |
| ②危機管理型ハード対策 | H32年度 | | | | | | ○ |

○:取組継続 ●:進捗

①について

・大淀川河川整備計画をH30.6変更
 ・侵食・洗掘対策完了、パイピング対策実施中、津波高潮対策実施中

②について

・法尻補強対策、天端舗装を実施中